

リーディングDXスクール事業

【実践事例】

旭川市立緑新小学校（北海道）【指定校】

【取組内容】学級活動における情報モラルの育成

- 6年特別活動の学級活動において、情報モラルを主題とした授業を教育課程に位置付けている。
- 「スマートフォン・ゲーム機などの安全な使用方法について考えよう」の授業では、児童へのアンケート結果や、昨今社会問題となっているSNSに関連する事案を題材とした。
- 情報モラルに関する問題点を明確化し、児童が実際にスマートフォンなどを使用しているときに起きそうな事例を紹介した上で、児童自身に意思決定をさせたことにより、自分の身を守るために気を付けることを考えさせることができた。
- 話し合い活動において、デジタルホワイトボードやスプレッドシートを用いて、個人の考えを可視化し、他者参照を行うことにより、当初の考えと友達の考えを比較しながら、自分の考えを形成する姿が見られた。



デジタルホワイトボードの一部

3班

・どの事件も人と関わって起きていることだから、怖いと思いました。
・インターネットは簡単に誰でも繋がれちゃうから気をつけたいいけないと思います。

・親しいもだちなどでも信用して色々な写真などを送ってはいけないと思いました。

怪しいメールや〇〇するから〇〇してよとかのメールは無視してメールを送ってきた人を無視しよう

一番被害が多いのは、裸の写真で、信用してしまうから被害に遭うと思う

★自分の個人情報やむやみに出さないようにしたいと思いました。

どんなに仲が良くても、変な写真を、送ったら被害に遭う時がある

児童の振り返りより

後で消せばいいやと思って、一瞬でも自分のプライバシーに関する画像、言葉などを送ってしまうと、犯罪に巻き込まれる可能性があること、特に中高生、小学生と、自分たちの学年、これからなる学年が多いので、十分注意しないといけないということがわかった。ネットで知合った友達と仲良くなって、会おうとするのもあまりいいものではないと思ったので、これからは、知らない人とは合わない、犯罪に巻き込まれる可能性があることには自ら入って行ったり入って行ったりはしないなど、さまざまなことに気をつけながらSNSを使っていこう、そもそも連絡手段として意外にSNSを使うのはなるべくやめておこうと思った。また、詐欺メールなどは開かず、親に相談しようと思った。

スマホを使う時に連絡以外に使わないようにすると安全。できない場合は、写真を載せないで文だけにしたら安全だと思います。けど安心するのは良くないと思います。なぜなら、文章だけでばれる可能性もあるからです。タブレットやパソコンを使う時も同じだと思います。写真は、場所がバレないようにすることとSNSに出さなければいいと思います。もし出してしまったら、できる限り早く消す。自分は、詐欺に遭わないなど信じている方がかかりやすいから気をつける！